

日本鉄鋼協会記事

編集委員会

第6回和文会誌分科会 開催日: 8月8日. 出席者: 松下主査, ほか 16 名.

1. 20件の論文審査報告がなされ, 修正依頼 7 件, 掲載決定 13 件であった.
2. 「鉄と鋼」第 61 年第 15 号 (12月号) に論文 11 件, 技術報告 1 件, 技術資料 1 件, 特別講演 1 件, 掲載決定した.
3. 国内外の会誌の発行状況について調査し, 検討した.

共同研究会 製鉄部会

第10回コークス分科会 開催日: 7月22~23日. 出席者: 中村主査, ほか 102 名.

1. 共通議題 「コークス炉の燃焼管理について」討論しあつた. コークス炉操業における種々の外的条件に対して, 各窯の火落のバラツキを極力小さく, しかも窯内各部の乾留が均一となるよう, 炉温を管理するために計算機による燃焼管理の自動化が当面の重要課題であるという点で, 参加者の見解は一致した.
2. 三井鉱山コークス工業の分科会入会が紹介された.
3. 会議終了後, 住金鹿島 2 号高炉, 住金化エコークス工場を見学した.
4. 小委員会で「コークス工場の防災対策」について検討することとなった.
5. 次回は新日化君津製造所で開催予定.

鉄鋼分析部会

第39回化学分析分科会 開催日: 7月23~24日. 出席者: 岸高主査, ほか 49 名.

1. JIS 案文の様式について
JIS 化学分析法の様式モデルについて審議した. 基本的には JIS 分析法を国際的に受け入れやすくするため諸外国の様式に一致させる方針を再確認した.
2. 微量元素分析法の審議
化学分析分科会提出資料中の微量成分定量法に関する分析方法のまとめ(幹事提出)について審議した. 分析部会の共通議題でもあり, 各社の現状を報告して頂くことにした.
3. 鉄鋼化学分析法の審議
C, S…赤外吸収法による炭素分析法の共同実験結果のまとめを審議した.
Si…しゅう酸マスクモリブデン青吸光光度法のまとめを審議.
その他…P, Ni, Cr, V, N, Sb, Bi についても審議した.
4. 「ISO の鉄鋼及び鉄鋼石の分析に関する国際会議

の経過について」(特別講演)

新日鉄生産技術研究所 川村 和郎氏

計測部会

第60回部会 開催日: 7月17~18日. 出席者: 野坂部会長, ほか約 100 名.

1. 自由議題は提出資料 28 件あつた.
2. 高梨主査より「プロコン保守小委終了報告書の説明があつた. プロコンの歴史も 10 年をこえ, システムを“作る”ことも重要であるが, “守る”ことが大仕事となつてきている.
3. 共通議題 I 「焼結・ペレットの自動サンプリング装置」は提出資料 8 件あり, 当部会として装置的にはほぼ完成しており, 要は装置を使用する側 (分析, 製鉄) のソフトにかかっている点で意見が一致した.
4. 共通議題 II 「造塊・連铸における铸込量制御の自動化」は提出資料 5 件であつた. まだクレーンスケールによる方法が多い.
5. 次回は11月中旬三菱電機主催で大阪で開催予定.

原子力部会

第14回第5小委員会 開催日: 8月4日. 出席者: 笛木小委員長, ほか 18 名.

1. 当小委員会では新しいテーマとして「核熱利用による一般炭のガス化」を採りあげることになり, 新しく委員会を再編成した.
 2. 各委員の自己紹介
 3. 経過報告と討論……事務局提出資料に従い, 新規テーマを採りあげるに至つた背景, および今年度の調査項目, 日程に関する事務局案について審議した. また事務局案に対する出席委員の意見を出していただき, 一般炭のガス化に関する技術的問題を討論した. その後委員長決定で本テーマをとりあげることを決定した.
 4. 昭和51年5月を目標に報告書を作ることとし, 標題, 報告書の目次及び担当者を決定した. なお今後は3つのワーキンググループを作り活動する予定になつている.
- (1) ガス化ニーズ W.G.
 - (2) ガス化プロセス選択 W.G.
 - (3) 核熱利用検討 W.G.

標準化委員会

ISO 鉄鋼部会

開催日: 6月27日. 出席者: 川村主査, ほか 7 名.

1. バナジウム定量方法
イオン交換分離DMN吸光光度法及び N-B P H A 吸光光度法の共同実験結果の取纏めを行なつた.
2. いおう定量方法
日本意見を取り入れた最終案 (S 757) の紹介が行な

われた。

3. 主査交替

6年間にわたりご尽力願った川村主査が社内の人事移動で退任され、後任に佐藤秀之氏が就任された。

第19回 SC10 分科会 開催日：7月28日。出席者：藤田主査，ほか 11 名。

1. 国際会議報告

5月19～23日開催の ISO/TC17/SC10 & TC11/SC1 合同会議で審議された溶接ガスシリンダー鋼板，厚さ 100 超 250 mm 以下の压力容器用炭素鋼板，焼きならし型高降伏点細粒鋼，焼き入焼きもどし型高降伏点細粒鋼などの審議内容と結果の報告があつた。

2. TC17 DIS 2605/I～II

压力容器用鋼材を ISO に含めるための高温降伏点又は耐力の規格値を求める方法並びに鋼材の製造者が実地試験を行なわないで高温耐力が規格に合致することを使用者に満足させる方法について規定しているが，この規格によると非常に多くのデータを必要とすることから反対することにした。

第28回 SC12 分科会 開催日：7月30日。出席者：三佐屋主査，ほか 7 名。

1. 国驗会議報告

5月26～30日開催の第8回 ISO/TC17/SC12 で審議された，Alめつき鋼板，ホーロー用原板，電気亜鉛めつき鋼板，加工用高張力鋼板などの審議内容と結果の報告があつた。

2. 加工用高張力鋼板

加工性の程度が問題であるが，日本は自工会協定規格程度に加工性を重視した鋼板を対象にし，これに対する機械的性質，化学成分，厚板範囲などの検討を行なつた。

第8回 SC15 分科会 開催日：6月12日。出席者：青木主査，ほか 9 名。

1. レールの断面寸法に関する許容差をチェックするゲージ及びその測定方法を決定するためのワーキンググループ会議報告

2月5～6日開催の標記 WG に出席した日本代表から「ほぼ日本側の納得のできる方向でまとまったが，Fishing chamber のゲージを主体に equivalent なゲージも認めるべきであるとの提案は，次回 TC17/SC15 の本会議で検討されることになった」との出席報告があつた。

2. 国際会議対策

日本から提案している 7E，8E，23E，33E を従来通り主張することを再確認した。又，日本代表者には国鉄，新日鉄，鋼管 3 社が推せんされた。

第4回 TC5 分科会 開催日：7月7日。出席者：金井主査，ほか 10 名。

議題

1. 構造用冷間仕上中空鋼材 (TC5/SC1/WG)
2. ガス，水道，下水用継目無及び溶管 (DIS 559)
3. 溶接及び継目無ブレンエンド精密鋼管：寸法，重量表 (ISO 560)
4. 鋼管及び管状付属品の規格用記号 (DIS 3545)
5. 突合せ溶接継手 (ISO/3418，3419)
6. ブレンエンド溶接精密鋼管 (ISO/3305)

7. TC5/SC1 メンバーへの書簡

鋼管分科会

第37回分科会 開催日：7月11日。出席者：丸岡主査，ほか 12 名。

1. 塗覆装ワーキンググループによる塗覆製鋼管規格体系の審議状況が報告された。

2. 特別品質規定

鋼管規格体系検討の際新設された特別品質規定に対して，位置付け，挿入方法，規定項目及びその内容の検討を行なつた。

3. API 5LX 級を JIS 化する場合の原案作成の基本的な考え方について討議した。

4. JIS の標準寸法を ISO 寸法に合致させるため，ISO，JIS，ANSI の対比図をもとに ISO への統合の可能性について討議した。

日ソ油井用鋼管分科会

第6回分科会 開催日：7月30日。出席者：川野主査，ほか 6 名。

1. 第2回合同会議対策

8月10～15日開催の第2回日ソ合同会議にパイプ代表として，住商の田尻氏を選出した。

ソ連提案のワーキングプランは了承するが情報交換でソ連からは GOST 3 規格しか送付されず，省規格，技術資料が未送付なので，この点を指摘するようソ連側に要請することにした。

新規提案については工業技術院の意向を伺つた上判断することにした。

鉄鋼標準試料委員会

第48回委員会 開催日：8月14日。出席者：大槻委員長代行，ほか 17 名。

1. 昭和 49 年度収支決算報告

異議なく承認された。なお財政も健全であり 50 年度の計画達成も容易であることが報告された。

2. 鉄鋼標準試料在庫量と製造作業予定

4月～6月の月平均 490 本（化学分析用換算）で計画通りであり，輸出用は好調であつた。

3. 最近の新製品，更新品の紹介

微量元素シリーズ B（機器分析用 8 種 1 組）炭素鋼 430，いおう分析専用鋼 240，241 の紹介があつた。

4. 普通鋼シリーズの試料名称

普通鋼の場合は JIS 鋼種規格品名を付けるより炭素含有率で表示の方が使用者に便利であろうとの理由から普通鋼シリーズを炭素鋼シリーズに変更した。

鋼鋼基礎共同研究会

特殊精練部会

第5回第6分科会 開催日：7月24日。出席者：後藤部会長，成田主査，ほか 13 名。

1. 前渡辺主査（新日鉄）の後任として今回から，神